

報道関係者各位

2025 年 5 月 13 日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

ジョイフル本田×アイ・グリッド
太陽光発電および蓄電池を 11 店舗に導入し本格稼働
～ 年間約 3,800 トンの CO2 排出削減に～

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、株式会社ジョイフル本田（本社：茨城県土浦市、代表取締役社長：平山 育夫、以下「ジョイフル本田」）と連携して手がけてきたジョイフル本田の店舗（施設）の GX 推進に関して、このたび、計画していた太陽光発電および蓄電池すべての設置が 2025 年 6 月中に完了し本格稼働することをお知らせいたします。

すべての稼働により総発電量は約 1,000 万 kWh となり、太陽光パネルを設置した施設全体の約 25% の電力を屋根上で賄うことになります。また、これにより年間約 3,800 トンの CO2 排出削減を見込んでいます。



（写真：ジョイホンパーク吉岡）

■ 環境負荷の少ない店舗づくりを目指し積極的に GX を推進

ジョイフル本田では、サステナビリティ基本方針の下、社会的課題における循環型社会の構築に向けた気候変動に関する取り組みなどを積極的に推進し、温室効果ガス(GHG)排出量を指標とし Scope1,2 に関して 2013 年度比で 2025 年に 43%削減、2030 年に 51%削減、さらに 2050 年までにカーボンニュートラルを目標に掲げています。2025 年度目標は 1 年前倒しで達成しており（2024 年度 46.7%削減）、今後も目標達成に向け、環境負荷の少ない店舗づくりを目指しています。取り組みの一つとして、ジョイフル本田はアイ・グリッドと連携し、2022 年より GX 推進を手がけ始め、段階的に施設の屋根上への PPA※1 モデルを中心とした太陽光発電の導入を開始しました。2025 年 6 月までには対象 11 店舗への設置を完了し、日中の運営においては発電した太陽光による再生可能エネルギー（以下、再エネ）を十分に利用することが可能となります。

設置したうちの 10 店舗では蓄電池を併設し、発電量が多い時間帯の電力を蓄電池に貯め、電力使用量が多い時間帯や夜間夕方時に放電調整を行うことができます。また、長期にわたる停電時など有事の際には、蓄電池を活用して近隣住民への商品供給を継続できる運用を行ってまいります。

さらに、太陽光での電力が利用できない時間帯に対しての再エネ施策として、アイ・グリッドからのグリーン電力証書を用い追加性のある環境価値を活用してオフセットしています。これらの統合的なソリューションにより、ジョイフル本田の再エネの自給率を高めていきます。

ジョイフル本田とアイ・グリッドでは、脱炭素社会に向け、積極的に再エネ創出する GX を推進し、地域社会を豊かにするための幅広い取り組みを行ってまいります。

【導入店舗の概要と効果】

荒川沖店（茨城県土浦市）、古河店（茨城県古河市）、幸手店（埼玉県幸手市）、市原店（千葉県市原市）、君津店（千葉県君津市）、千葉店（千葉県千葉市）、富里店（千葉県富里市／太陽光発電設備のみ）、ニューポートひたちなか店（茨城県ひたちなか市）、新田店（群馬県太田市）、瑞穂店（東京都西多摩郡）、ジョイホンパーク吉岡（群馬県北群馬郡）

総発電容量：合計 9,359kW

蓄電池総容量：合計 4,358kWh

CO2 排出削減効果：約 3,800t-co2※2

■ジョイフル本田について

ジョイフル本田は『『必要必在』と『生活提案』で地域社会の喜びと夢を共創する』を企業ミッションに掲げ、「国内 No.1 の“Living Space Innovator®”企業となる」ことを目指しています。ホームセンター 17 店舗、専門小売店 8 店舗、商業施設 1 店舗を展開しております。

ジョイフル本田では TCFD 提言への賛同を表明しており、提言に沿って気候変動に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の開示を行っております。

今後もより豊かな未来のため「環境負荷の少ない店舗づくり」や「商品を通じた環境活動の推進」などに取り組み、店舗での商品やサービスの提供のみならず、地域社会を豊かにするための幅広い活動を行ってまいります。

取組みの例としては、①環境負荷の少ない店舗づくりとして ZEB 化を推進、②店舗・本社の照明の省電力 LED 照明への切り替え、③高効率の GHP・EHP 空調設備への切替え、④太陽光パネルの設置、等々を行っております。特に太陽光パネルは、屋上型のみで年間 1,000 万 kwh を発電しており、今後はソーラーカーポートの設置など新たな施策を行っていく予定です。

■アイ・グリッドについて

アイ・グリッドは、流通小売、物流等の企業向けを中心に、施設屋根上に初期費用なしで太陽光発電所を導入するオンサイト PPA 事業をいち早く手がけ、PPA モデル国内 No.1※3（累計開発実績 1,130 施設・発電容量 271MW/25 年 3 月末現在）の実績を有し VPP 実現に向けて業界をけん引してまいりました。また、太陽光パネルの設置面積を最大化しつつ、再エネ電力の自家消費比率を大幅に向上させる「余剰電力循環スキーム」など、デジタルテクノロジーを活用した独自の GX ソリューションや技術・ノウハウを蓄積しており、導入企業様とともに脱炭素社会化を推進してまいりました。

今回の連携することで、国内における太陽光 PPA をさらに加速させてまいります。さらに、蓄電池・EV などを組み合わせた GX ソリューションによるエネルギーの自立自走した街づくり（GX City）を実現していきたいと考えております。

※1 PPA とは

PPA「Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル」の略。発電事業者（PPA 事業者）が電力需要家の敷地や屋根等のスペースに太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に提供する仕組み。

※2 2023 年度の CO2 排出係数 0.408 kg-CO2/kWh を元に算出

※3 富士経済 2024 年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望/ 第三者所有モデル（PPA モデル、リース）・非住宅（10kW 以上）・2023 年度実績

【ジョイフル本田の概要】

社名：株式会社ジョイフル本田

本社所在地：茨城県土浦市富士崎一丁目 16 番 2 号

代表者：代表取締役社長 平山 育夫

設立：1975 年 12 月 15 日

会社 HP：<https://www.joyfulhonda.co.jp/>

【アイ・グリッド・ソリューションズの概要】

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-7-4

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：6,530 百万円（2024 年 6 月末時点）※資本剰余金含む

従業員：120 名

設立：2004 年 2 月

コーポレートサイト：<https://www.igrid.co.jp/>

サービスサイト「iGRID GX Solution」：<https://gx.igrid.co.jp/>

オウンドメディア「グリラボ」：<https://gurilabo.igrid.co.jp/>